

## ④3 宮崎西インターチェンジ周辺防災支援拠点整備事業

受賞機関 宮崎市

**キーワード** 地域災害拠点病院、一団地の津波防災拠点市街地形成施設、地区計画

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

東九州自動車道宮崎西IC周辺における総合的な防災支援拠点の整備。地域災害拠点病院が立地し、隣接して県指定救助活動拠点が存在する交通便利性に優れた当地を選定して、災害時の救援・救護活動や復旧・復興を支援する拠点として整備を図った点や、困難な事業を多くの部門が連携して成し遂げた点が評価された。

### 1. はじめに

東日本大震災後、平成25年2月に宮崎県が公表した「南海トラフ巨大地震等の津波浸水想定」では、本市の沿岸部、約4,010haの区域が浸水することが示された。この想定区域内には「地域災害拠点病院」に指定されている宮崎市医師会病院等が立地しており、本市を含む周辺自治体の医療活動等への深刻な影響が懸念されていた。

このため、大規模自然災害に備え浸水被害がなく、かつ東九州自動車道宮崎西ICに近接し、陸上輸送の要所にある当地において、医療及び災害時の救援・救護活動の拠点づくりとして「宮崎西IC周辺防災支援拠点整備事業」に着手した。造成工事は令和2年3月31日に完成、同年8月1日には同事業と連携した市郡医師会病院やその他各医療関連施設を移転集約した「生目の杜医療防災拠点」が開業した。

### 2. 事業の概要

宮崎市都市計画マスタープランにおいて「防災支援拠点」として位置付けられた宮崎西IC周辺の高台である当該地約14.8haを「一団地の津波防災拠点市街地形成施設」として都市計画決定し、都市計画事業により公益的施設用地、防災緑地、幹線道路等を整備した。

また併せて当地区に都市計画法に基づく「地区計画」



宮崎市医師会病院等を沿岸部から直線距離約9kmの標高約29mの高台へ移転

を設定し、大規模自然災害に備えるために必要な医療施設や関連施設等の土地利用の誘導を図るとともに、建築物等の形態又は意匠の制限等により、周辺環境と調和した景観形成にも努めたところである。

### 3. 事業の成果

災害時の医療体制を担う「地域災害拠点病院」である市郡医師会病院を始め、市内に分散立地していた市郡歯科医師会、市郡薬剤師会、その他医療関連施設を集約させることにより、大規模自然災害の被災後における救護体制が整った。更には隣接した県指定後方支援拠点である「生目の杜運動公園」と連携して、速やかな復旧・復興の支援を可能とする防災緑地3箇所、約2haの整備を行った。



「生目の杜医療防災拠点」と  
県指定後方支援拠点「生目の杜運動公園」（奥側）

当防災緑地は、平常時は広く市民に開放された緑地広場として利用でき、緊急時には自衛隊等の広域支援部隊のベースキャンプや災害医療の支援基地としての利用、災害時ボランティアの活動拠点等として利用することとなっている。

### 4. おわりに

本事業は法定計画である「宮崎市津波防災地域づくり推進計画」（平成27年3月）に位置付け、平成28年度に事業着手し、約4年で完成することが出来た。本計画では国・県・市ほか関係団体が一体となって、津波避難タワーをはじめ、避難路や避難階段等、ハード・ソフト両面から総合的に防災・減災に取り組むこととしている。今後とも、地震・津波のほか総合的な防災対策を気を緩めることなく推進し、安全・安心なまちづくりを次世代につなげていきたい。